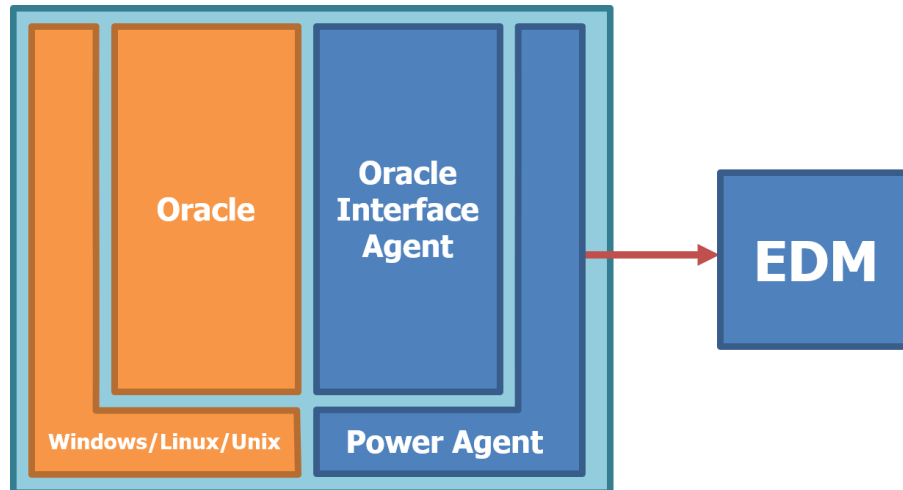


Sightline Interface Agent for Oracle(以下、Oracle Interface Agent と略記)は、ユーザーに影響を及ぼす前に、パフォーマンス低下を通知する予防的サービスレベル・マネジメントを提供します。Oracle Interface Agent は、自動的に迅速かつ効率的に問題を解決するための是正措置を取ることができるインテリジェンス機能を備えています。Sightline は、Oracle データベースをパフォーマンス・チューニングし最適なリソース・キャパシティでサービス提供を行うことを支援できます。



データベース・アクティビティとシステム・パフォーマンスの革新的な分析/解析

ビジネス効率の最適化は、高品質な IT サービスレベルに依存します。Sightline のパフォーマンスとサービスレベルに関する情報の分析/解析は、ユーザーに影響が及ぶ前に、サービスレベルのトレンドが劣化しつつあることを事前通知するリアルタイムのパフォーマンス・マネジメント・インテリジェンス機能を提供します。

迅速なレスポンスで、根源原因分析と解決を可能にするさまざまなデータベースおよびサーバーやストレージやネットワーク等のシステム・メトリックとの間の相関分析することができます。継続的に利用可能なサービスレベルの情報で、Oracle ベースのシステムのための最適なサービスアップタイムおよびコスト削減を行うことができます。

データベースとシステムを最高パフォーマンスに最適化

Oracle Interface Agent は、アプリケーションの可用性、効率性、およびユーザー満足度を高め、小規模な Windows ベースのワークステーションからの複数サーバにより構成される大規模な分散型データベース・システムに対してパフォーマンス・マネジメント実現できます。Oracle Interface Agent は、関連するすべてのパフォーマンス・データへ容易にアクセスし、Oracle リソースのグローバルと詳細ビューを DB ならびにシステム管理者に提供できます。

Oracle に対するシステム・リソースの影響度をモニタリング

システム管理者は、システム・リソースに関する Oracle への影響を詳細に理解することが可能です。例えば、高コストなアプリケーションやバッチスケジューリングの競合は、直ちに、セッションごとにデータベース I/O とシステムリソースの使用率をモニタリングすることで認識することができます。この例には、CPU 使用率、データベースファイルの I/O、同時ユーザー数、Oracle のキャッシュヒット率、およびラッチ競合に関する情報も含まれています。

カスタマイズ可能なユーザーインターフェース

Sightline のユーザーインターフェースは、管理者や特定の組織のニーズに合うように直感的な解かりやすいユーザーインターフェースに、柔軟にカスタマイズすることが可能です。

Sightline による高度な分析/解析/レポート機能

Oracle Interface Agent を利用して以下のような機能を提供します。

AutoCorrelate(相関分析機能)

システムのボトルネックなどの問題を迅速に識別して解決する根源原因分析を行うために、Oracle のパフォーマンス・メトリクスと Oracle を含む IT システム全体のサーバーやストレージやネットワーク等のシステム・メトリックとの間の相関分析することができます。

AutoAnalyze(分析機能)

Oracle の稼働状況をチェックする際に、事前に定義されたルールや数式を使用することができます。分析/解析は、パフォーマンス低下やダウンタイムを事前に予防するためにスケジュールすることができます。

AutoInvestigate(診断機能)

非効率的なリソースの使用状況の期間などの逸脱したシステムやデータベースの動作を識別します。これによりデータベース安定稼働のための予兆検知を行うことが可能です。

AutoReport(レポート機能)

Oracle を含んだ IT システム利用に関して必要に応じてレポートすることができます。またレポートは、日時、週時、月次等にスケジュールすることが可能です。レポートは、課金やジョブ・スケジューリングのためのシステムの使用状況について、利用ユーザーに対してフィードバックを提供することができます。

AutoWeb(Web レポート機能)

イントラネットまたはインターネットを介して多様なユーザーにレポートを提供できます。

AutoAlert(アラート機能)

使用可能な空きストレージ・スペースおよび SQL*Net リスナーデーモンとして、重要なデータベース・オブジェクトの 24 時間 365 日のモニタリングを提供します。Sightline は、特定のニーズを満たすために、アラーム、電子メール、ポケットベル、SNMPトラップおよび外部プログラム起動等のシステム連携を使用して柔軟なイベント通知が可能です。

パフォーマンス・メトリクス

Sightline は 300 以上のアクティビティと Oracle データベース・システムに関連したパフォーマンス・メトリクスを収集できます。

- ◆ User Stats - ユーザーレベルのアクティビティ
- ◆ Redo Stats - Redo ログファイルに関連するアクティビティ
- ◆ Enqueue Stats - 待ち行列のアクティビティ
- ◆ Cache Stats - キャッシングのパフォーマンスの有効性に関する統計情報
- ◆ Parallel Stats - Oracle Parallel Server のパフォーマンスをモニタリングするためのメトリクス
- ◆ SQL*Net Stats - SQL*Net コネクション向けメッセージアクティビティ
- ◆ OS Stats - 一般的なオペレーティングシステムの統計情報
- ◆ File Stats - ファイルレベルの統計情報のアクティビティ
- ◆ Latches - ラッチのアクティビティ
- ◆ Library Cache - ライブラリキャッシュのパフォーマンスに関する統計情報
- ◆ Shared Server - ORADB Shared Server の統計情報
- ◆ Dispatcher - Oracle ディスパッチャのアクティビティ
- ◆ Row Cache - Row キャッシュのアクティビティとパフォーマンス
- ◆ Wait Stats - ORADB の待機統計情報
- ◆ SGA Stats - 共有メモリー構造のアクティビティとサイズを示す統計情報
- ◆ Tablespaces - 表領域容量の統計情報
- ◆ Rollbacks - ロールバック表領域の統計情報
- ◆ その他

マネジメント対象

- ◆ Oracle 10g, 11g



日本サイトラインシステムズ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10

ユニゾ芝二丁目ビル 3F

<https://www.sightlinesystems.co.jp/>

<http://blog.sightlinesystems.co.jp/>

<https://www.facebook.com/SightLineSystemsJapan/>

<https://www.google.com/+SightlinesystemsCoJpPlus/>

<https://twitter.com/sightlinejapan/>

<https://www.youtube.com/user/SightLineSystemsJP/>